慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	國際問題の展望：歐洲統一問題：歐洲議會の成立
Sub Title	
Author	内山, 正熊(Uchiyama, Masakuma)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1949
Jtitle	法學研究：法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.22, No.4 (1949. 4) ,p.54- 58
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19490401-0054

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

國際問題の展望

歐洲統一問題

——歐洲議會の成立——

一

第二次世界大戰の結果、帝國主義支配の力は著しく弱化し、植民地後進國は相次ぎ先進帝國主義國の羈絆から脱して分離獨立しつゝあることは周知の事實である。この世界構造の激變によつて歐洲の世界的地位、重要性は著しく低減せられたのであつて、かつてその支配の及ぶところ七つの海に跨り、永〻世界帝國的地位を占めたイギリスですら、英連邦の保全維持に汲々たる有樣であり、フランス、オランダ何れもまさに佛印、蘭印を失わんとしている狀態である。今や外に植民地支配の力を失い、内に自存自活の經濟社會的再建に苦惱する現在、西歐のかつての全世界に及んだ世界支配の勢威は地に墜ちんとしているのである。

それは、戰後西歐がアメリカの壓倒的優位によつて影が薄くなり、その經濟力に於てアメリカに子供扱にされる悲哀反感と共に、他方ソ連の東歐支配によつてその活動が遮られる焦躁反抗によつて、西歐をして嫌應なしに結集協調し、自らの生存活動の世界を作り上げざるを得なくしたのである。かくて、歐洲結成（"Making Europe"）西歐統一（"European Unity"）は非共産主義西歐の標語となつて、昨年來西歐連合は結成され、歐洲統一委員會は設けられたのであるが、更に、最近歐洲議會が成立するに至つたのである。

アメリカはこれを第二次大戰後の二つの世界の對立、東西兩歐の分裂の故に歸し、西歐機構の背景には經濟的にはマーシャル・プランに基く歐洲復興計畫（E・R・P・）、政治的軍事的にはブリュッセル條約及び北大西洋條約に基く集團安全保障組織があるとするが、然し、眞の背景は單に米ソの政治的壓迫及び歐洲繁榮再建促進のための經濟的要請があるのみならず、沒落しプライドを傷けられた西歐のインフェリオリティ・コンプレックスの精神的影響の存することも見逃せないであろう。（Time & Tide, 23 April 1949, London 中の Bertrande de Jouvenel; Making of Europe 參照）

二

歐洲統一の思想は已に三世紀以前から存し、十七世紀にフラ

ンスのヘンリー四世による所の歐洲連邦の大計畫、十八世紀のアベ・ド・サンピエールの永久平和論に於ける歐洲連盟案近くは、第一次大戰後フランスのブリアンによる歐洲合衆國の提案があつたのであるが、第二次大戰後、この歐洲統一の氣運に乘つて幾つかの具體的プログラムが構想されたのである。

先ず最初にチャーチル前英首相は一九四六年六月に歐洲連邦案を發表したが、昨年五月にはハーグに於て歐洲統一會議が開催せられ、これには西歐十六カ國及び西獨、ユーゴスラヴィア、ポーランド、チエッコスロヴァキア、ルーマニアの亡命政治家の歐洲二十三カ國の代表八百名が參加したのである。その開會演說に於てチャーチル議長は西歐連合の擴大强化と歐洲議會の設置を强調し、ソ連邦、西半球ブロック、「英連邦を含む全歐洲連邦」の三大ブロック體制による平和維持の構想を述べたのであつた。その具體的方策審議のため、政治、經濟、文化の委員會が設けられ、三委員會は直ちに活動を開始し、

(一)歐洲議會及び歐洲裁判所の創設を勸告する決議案

(二)通商及び金融上の障壁を撤廢した歐洲經濟同盟實現の必要を勸告した決議案

(三)歐洲復興會議を招集するの三大決議案を作成して閉會したのである。(本項については、外務省調査局、最近の國際狀勢第三卷第五號參照)

三

然しながら、かゝる歐洲統一方式については、チャーチル前英首相の主唱に拘らず、歐洲統一委員會に於ける英國の西歐連合に對する態度は非妥協的であつて、歐洲議會に出來るだけ大きな權限を與えようとする佛、白案と之に反對する英案とが對立し、これが歐洲統一の躓きの石となつて來たのである。即ち、ヨーロッパを通じての經濟的自由という點に重點をおき、歐洲間の人と物と資本との自由な交流を主張するフランス的方式と、原則に於ては西歐連合に贊成しながら具體的には自國の經濟的國境を開放する意向は示さず、國家主權放棄を容易に肯んじない英國の主張との二つの流れが存するのである。この英國案と佛、白の大陸案との間のギャップは相當に大きく見えるのであるが、英國はその强硬性の反面にはリップサーヴィスを嫌つて國家利益を保持する現實性を强くもつている。事實國家利益の要求に應じて發展して來た國家行政が今急に外國の利益に照應するとするならば現實を無視したパラドックスであろう。

之に對するフランス流の歐洲議會設置案は、例えばレイノー氏の主張する所の、ヨーロッパ主權に基く人民主權の信念に從つて賦與せらるべき歐洲憲法を實すためヨーロッパの一般選擧

を進行せんとするものであつて、これは一見極めてユートピア的である樣に見える。

而もこの極めてユートピア的に見えるフランス的歐洲統一方式が、實は唯一の非ユートピア的な解決案であるのではあるまいか。ジウヴネルの表現を借りれば、この歐洲結成の道こそは唯一の困難打開の道でもあるのである。それは先ず具體的要求が歐洲結成を要請しているからである。

いうまでもなく、今次大戰に於て連合軍は合同參謀本部の統制下にあつて勝利をかち得たのであつて、それは各國國民の舊い國民主義的制約を超脫したものであつた。國民軍というものは已に時代後れの觀念であつて、國籍國境をこえた共同戰線によることなき單一國民軍組織は戰爭完遂をなし得ないこと明かである。それ故、非國民的基盤の上で召集され、共通の基金から給與される歐洲軍を考えることは決してユートピア的ではないのである。又國民的發權經營の代りに歐洲持株會社（ホールディング・カンパニー）を創出することはユートピア的であるとは思われない。何となれば、かゝる持株會社は國民的會社より容易に增資運營をなし得るであろうし、又これと同じく各國中央銀行が歐洲連邦準備銀行にリンクされるならば、國民經濟間の融資取引決濟が容易になるであろう。若し貨幣が國境をこえて自由に有效に兌換されることになれば、資本移動の最主要障害は消え去り、經濟的發展は著しく促進されるであろう。

こゝに於て、國家が國民經濟の首ネックを抑えていなければならないという國家社會主義的な考えを除去し得たならば、ヨーロッパ主權に基く歐洲議會の成立こそ最も具體的に歐洲諸國の安全福祉を齎す一大モメントになるであろう。勿論歐洲各國を緊密な共同生活體に改造するプロセスには幾多の難關があると考えられるけれども、西歐が一つの社會であるという思想は案外に容易に各國民に滲透して、その問題も自ら解決されるのではなかろうか。

四

この歐洲統一達成の促進を圖らんとする西歐連合の歐洲統一委員會は、昨年來審議を續けて來たが、本年一月中旬パリに於て再開せられ、その審議の結果は一月下旬ロンドンに於て開かれたベヴィン英外相司會による第四回定例外相會議に於て考慮せられて、遂に歐洲會議（Council of Europe）を設立することに意見の一致をみたのである。

歐洲會議は外相委員會（Committee of Foreign Ministers）と諮問會議（Consultative Assembly）とにより構成される。外相委員會は國防に關係ある問題を除き（これについては西歐連合國防相會議が已に昨春來存置され活動している）參加國共

通の利害問題を審議する、諮問會議は外相委員會に勸告するが、立法又は立憲の權限を有しない。諮問會議は外相委員會から諮問される一切の問題を審議するが、それは他の國際機構との競合は避け、專ら各國の經濟、社會文化及法律問題の審議を行い、參加各國の緊密なる統一を增進し、歐洲人に對しその共通文明の基本を形成する諸原則の理解を深める如き實際手段を檢討する。以上の線に沿つて西歐連合常設事務局は歐洲議會憲章の起草に着手し、先ず西歐連合五カ國（英・佛・和・白・ルクサンブルグ）の代表者によつて原案を作成し、三月參加招請を受諾した、イタリア、アイレ、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、の各國代表を交えて原案作成を行つて四月十三日完了し、五月三日、十カ國代表はロンドンに會合し、五日には歐洲議會規約（statute）に調印したのである。かくして第一回議會は今夏八月フランスのストラスブールで開催の運びとなつたのである。

この規約によれば、歐洲會議は一種の內閣（Cabinet）と議會（Parliament）から成立する。この所謂內閣は大臣（外相）委員會（Committee of Ministers）であつて十名の各國政府代表より構成され、この代表は本國政府の訓令支配の下に立つから國際連合の各國代表と同じ形をとる。この所謂議會は諮問會議（Consultative Assembly）であり、各國から選び出された八十七名から成る。この各國議席割當は各國の面積の大いさによる。（英佛伊各十七名、白・和・瑞各六名、丁、アイレ諸各五名、リュクサンブルグ三名）。議會の意思は三分の二の多數決によつて表明されるが、然し最終決定は全會一致による。從つて各國の主權は未だ放棄されていないのであり會議の決定も拘束力をもたぬ勸告にすぎないものであるから、議會の權限は限定されたものである。（New York Times Overseas Weekly May 8 1949 P. 5 參照）

五

かゝる政治的歐洲統一運動の背後には、經濟的、社會的基礎が存在する。この歐洲議會規約制定に先行して四月下旬ロンドンには歐洲經濟會議が開かれ、その會議の冒頭チャーチル英前首相は、「我々は若しボーバー（救恤を受ける貧民）奴隷たらざらんとするならば、たゞに自國のみに於ける愛國者としてのみでなく、ヨーロッパ人として考え、計畫し、努力しなければならない」と述べ、又我々がこれから創造せんと希むヨーロッパに於てはより多くのドアーと窓あるべく、又之を遮る壁はより少なかるべしとも言われたのである。

加之、特に注目すべきはアレキサンダー國防相が出席し、偉大な思想であり又將來のホープである歐洲統一思想の前進道程

に當つては政黨の對立が存在することを許されないと述べて、從來の英國の歐洲統一に對する消極的態度を一新して、積極的にこの統一促進に努めつゝあることである。

この經濟委員會の努力の結果として、經濟統合のプログラムが提供せられ、社會商業委員會の一決議は、歐洲はより效率的な生產的經濟樹立のためだけでなく、勞働、旅行、生活の自由を侵犯している多くの障碍を除去することによつて、歐洲人民間によりよき理解を促進するためにも、經濟統合を必要とするとし、かくしてのみ歐洲は獨特な具足的（インテグラル）文明を創造し得るのであるとしている。

經濟活動促進のための直接手段として、通貨の自由兌換が要請され、歐洲統一のために最初に採らるべき目標は、歐洲人の民主國間の自由旅行の權利達成にあり、學生、技能者の移動制限解除が第一に必要とせられている。然し從來各ゝフランス人、オランダ人、イギリス人と自ら考え行動して來たのに今このパックとカラーをなくして歐洲人として考えることはしかく容易ではないけれども、それも歐洲人間なるが故に案外にうまくけりがつくのが西歐統一の有利な點である。

かくて、歐洲經濟會議の閉會に當つて、ハロルド・バットラー議長が、「我々は歐洲人の移動自由について寄與する所大であつたのみでなく、歐洲共同體の自覺に貢獻する所大であつたと私は感ずる。我々はまた、結局社會的にも經濟的にも同一目的に向つて努力している所の同一人民であるということを發見したのである。」と述べたことは決して虛辭ではなかつたのである。然しながら、西歐連合、歐洲議會という歐洲統一の政治的成長も、單に表面的な對ソ防衛體制のみではなくして、實は經濟的に西歐を壓倒し去らんとするアメリカの威力に對抗せんとする西歐苦肉の對米防衛體制でもあるのであり、而も歐洲復興も一にアメリカの援助借款という借物の上に立つていることを考えるとき、歐洲統一の經濟的基礎は必ずしも堅固とはいえないのであつて、そこに歐洲統一の脆弱性が存することを見逃してはならないのである。我々は、歐洲統一運動の中に、最後世界再建の希望と共に、その苦闘の姿を見るのである。

（一九四九・六・一二）　內山正熊